笠原棚田米新聞

2017年8月号

2017/6/17（土）
笠原棚田米プロジェクト「田植え」

昨年に引き続き、今年も黒木町内の子供たち（14名）と西南大学 think & act（9名）に田植えを手伝ってもらいました！子供たちの中には2年目の子もいて、田植え作業がとても上手な子たちもいました。この中から、将来の棚田米生産を担ってくれる子が育つといいなと期待しております。

今月のお米　笠原棚田米プロジェクト無農薬実験田（ヒノヒカリ）：屋敷地区

プロジェクト参加面積 46a

えがおの森から車で 5 分、標高 420mの屋敷地区の棚田 10 枚にて無農薬の実験栽培を行っています。2014～2016 年はレンゲを緑肥として鋤き込むだけで、肥料も入れていません。除草効果を期待して、米ぬかを 100kg/10ａを目安に散布し、生えてきた草は、えがおの森の国際ボランティアに草取り作業を手伝ってもらっています。無農薬の効果が出てきたのか、ドジョウやホウネンエビが見られるようになり、水生昆虫も増えた気がします。しかし収穫量は 3.5 俵/10ａ（1 俵＝60 キロ）と周辺の半分程度。明治時代の笠原地区の収穫高は 3.8 俵/10ａでしたので、それと同程度となります。これではさすがに厳しいので、今年 2017 年からは有機質肥料を散布しましたが、今のところいい具合です。米ぬか散布の効果も 2～3 年後に徐々に高まると言われていますので、もう少しこの方法で実験を継続したいと思います。

◆事務局より

〇余ったお米は冷蔵庫に！　高温多湿はお米の大敵です。虫やカビ、食味が落ちることなどを予防するためにも、これからの季節は、できるだけ冷暗所で保管をお願いします。とくにお米が余って 1 ヶ月以上の保管をされる場合は冷蔵庫がおすすめです。

〇新規サポーターさん募集中！

棚田を守る取り組みに参加いただける方がいらっしゃいましたらご紹介下さい！サンプルとチラシを送らせていただきます。同封の農産物注文書でサンプルを注文できますので、ぜひご活用ください！

〇次回のお届け　次回（9/6 発送）は川原孝行さんの「つくしろまん」をお届け予定です。※精米歩合の変更や配達先変更をご希望の方は、発送の前月 20 日までにお知らせください。

こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾
美しい棚田を未来へ

特定非営利活動法人　山村塾
〒834-1222　福岡県八女市黒木町笠原 9836-1
TEL/FAX:0943-42-4300　E mail：info@sansonjuku.com
山村塾 HP　http://sansonjuku.com

【H29 年度サポーター数】7 月 89 名→88 名/123 俵（個人：86、企業/団体：2）
【守られている棚田面積】2050 ㎡（123 俵⇒205a　収量 6 俵/10ａとして）

※農家がやる気を持って取り組む仕組みを作り、棚田の風景を次世代へ引き継ぐため、「5 年間買うぞ！」の口約束をしてくれるサポーターを募集しています！
※棚田米サポーター募集！　http://sansonjuku.com/activity/tanada